

横浜市立上山小学校 令和元年度 体育・健康プラン
～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学 校 経 営 中 期 取 組 目 標

- 学校教育目標を実現し、一人ひとりが認められているという安心感のある心から楽しく過ごせる学校づくりを進めます。
- ・子どもが互いを認め合い、温かくかかわり合える学級・学校づくりのために、児童指導・理解の充実を確実に進めます。
 - ・子どもの自主性・主体性を生かした問題解決的な授業づくりを各教科等で進めます。
 - ・子どものよりよい成長のため、家庭・地域、小中一貫教育推進ブロック4校・他機関と連携を深め、開かれた信頼される学校づくりを進めます。
 - ・子どものために教職員が協力して、互いを理解し、支え合っていこうとする活気ある組織づくりを進めます。
 - ・子どもが運動を楽しむことで、体力アップ・コミュニケーション力アップを図り、粘り強く学習に取り組み自己肯定感が高まる取り組みを進めます。

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		具 体 的 取 組
健やかな体		【健康的生活習慣を身につけ、健やかな心と体を育みます】①体力向上と健康な心の育成ために、長縄と自由外遊びを継続的に取り組みます。②年2回の学校保健委員会で生活習慣や健康に関するテーマについて取り上げ、健康的生活習慣の日常化に取り組みます。
担当	体育 保健 食育	

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態把握

- ・市の平均に比べ、朝食の接種率が低く、毎日食べていない子どももいる。
- ・地域の社会スポーツチームに所属している子どもの割合は市の平均と比べると高く、スポーツに対する意識は高いことが分かる。
- ・保健室の来室状況は、

(2) 体力の概要と要員の分析

- ・50m走はどの学年もおおよそ市の平均並みとなった。
- ・20mシャトルラン、反復横跳び、立ち幅跳びが全学年市の平均を下回る結果となった。特に立ち幅跳びの平均は大きく下回った。
- ・女子に比べ、男子の平均が全体的に市の平均と比べると下回る結果となった。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科での取組》

- ・校内重点研究として、体育科を取り上げ、教師の指導力向上を図り、子どもが運動することの楽しさを味わえる授業づくりを研究する。
- ・健康・安全についての理解を深め、自他を肯定的に捉えられるようにする。
- ・運動施設を利用して運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。
- ・めあてを持ち、それに向かって最後までやり遂げようとする。
- ・運動の楽しさや喜びにふれ、自分なりの運動の楽しみ方や学び方を身につけながら運動する。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、食育との関連も図る。
- ・生活科・理科では、生命の尊さの指導を行う。

道徳・特活・総合

- ・運動委員会で体育的な行事を企画・運営し、めあてをもって、皆で楽しく参加できるようにする。
- ・新体力テストでは、自分の体に関心を持ち、高学年の児童はそこから、体力を高めるために必要なことを考えられるように指導する。
- ・運動会では、いろいろな領域の学習を発展させ、体育科で培った資質を生かして、計画的な学習を組み、参加する。
- ・学校保健委員会では、健康・安全の課題について校内で話し合い、保護者・職員・児童の全校で取り組む。
- ・歯科巡回指導 ・球技大会 ・全校遠足
- ・健康診断 ・体育大会

課外活動

- ・週1回のロング昼休みに外遊び
- ・運動委員会による縄跳び集会に向けての学級や学年の取り組み
- ・たてわり活動によるたてわり遊び

平成30年度 上山小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》上山長縄集会

《ねらい》長縄集会に向けて、各クラスで目標回数を設定し、休み時間を使って練習に取り組むことを通して、外遊びに親しみ体を動かすことの楽しさ、目標を越える喜びを味わうことができるようにする。

《内容》全校児童が校庭に集まり、1組から1分間の練習の後、3分間の計測を行う。2組は同じ学年や異学年の応援をしながら、よい動きを見付ける。2組も同様の流れで実施する。

●指 標：①長縄で育まれる動きを巧みな運動ととらえ、反復横跳びの全学年の平均を5月の実施した記録と長縄集会後の記録を比較する。

②上山記録として、これまでの歴代記録を記録していく。